

学期 / Semester	2017年度 / Academic Year 1クォーター / First Quarter	曜日・校時 / Day・Period	月 / Mon 3, 火 / Tue 3
開講期間 / Class period	2017/04/06 ~ 2017/05/23		
必修選択 / Required/Elective class	選択 / elective	単位数(一般/編入/留学) / Credits (general/admission/overseas)	2.0/2.0/2.0
時間割コード / Time schedule code	20170587026902	科目番号 / Subject code	05870269
科目ナンバリングコード / Numbering Code	GEMB 12111_005		
授業科目名 / Subject	心が安らぐ安全な社会づくり (医療現場の安全と安心) / Safety and Relief in the Health		
編集担当教員 / Professor in charge of putting together the course syllabus	橋爪 真弘 / Hashizume Masahiro, 田崎 修 / Tasaki Osamu, 田中 隆 / Tanaka Takashi, 吉田 浩二 / Yoshida Koji		
授業担当教員名 (科目責任者) / Professor in charge of the subject	橋爪 真弘 / Hashizume Masahiro		
授業担当教員名 (オムニバス科目等) / Professor(s)	橋爪 真弘 / Hashizume Masahiro, 田崎 修 / Tasaki Osamu, 田中 隆 / Tanaka Takashi, 吉田 浩二 / Yoshida Koji		
科目分類 / Class type	全学モジュール 科目, 全学モジュール 科目		
対象年次 / Year	2, 3, 4	講義形態 / Class Form	講義 / Lecture
教室 / Class room	教養教育B棟15 / RoomB-15		
対象学生 (クラス等) / Object Student			
担当教員Eメールアドレス / E-mail address	hashizum@nagasaki-u.ac.jp (メールを送信する を@に変更して送信してください)		
担当教員研究室 / Laboratory	熱帯医学研究所2階 小児感染症学分野222研究室		
担当教員TEL/Tel	095-819-7764		
担当教員オフィスアワー / Office hours	hashizum@nagasaki-u.ac.jp		
授業の概要及び位置づけ / Course Outline and Objectives	急速なグローバル化や災害への対策が急務とされる今日の状況において、医療現場で人々の健康に関する安全と安心を維持するためにどのような対応が求められるか、総合的に理解する。		
授業到達目標 / Goal	医療現場で人々の健康に関する安全と安心を維持するためにどのような対応が求められるか、自ら努力をして維持することが重要であることを認識できるようになる。(授業到達目標??)		
授業方法 (学習指導法) / Method	講義を基本とする。必要に応じてアクティブラーニング手法 (スモールグループディスカッション) を取り入れる。		
授業内容 / Class outline / Con	<ul style="list-style-type: none"> " 1 . 気候変動と感染症 2 . デング熱ってなに ? 3 . 蚊と感染症 4 . 開発途上国の医療現場と感染症 5 . 原子力災害後の放射線リスクと危機管理 6 . 放射線被ばくを受けた住民に対する支援活動の実際 7 . 高齢者医療の現状と看護 8 . 医薬品開発の歴史 : くすりは毒から作られた 9 . 身近な毒と、毒を克服した生物たち 10 . くすりと食べ物の境界はどこか (病気の予防と治療) 11 . 食とくすりの安全について考える 12 . 救急医療の現状と課題 13 . 災害医療の現状と課題 14 . 救急医療における臓器提供と終末期医療の現状と課題 15 . 安心な災害医療・救急医療に向けて我々が取り組むべきこと" 		
事前、事後学習の内容 / Preparation & Review	特になし		
キーワード / Key word	放射線リスク、災害医療、天然毒、熱帯感染症、気候変動		
教科書・教材・参考書 / Textbook, Teaching material, and Reference book	教科書は用いない。必要に応じて参考書を紹介する。		
成績評価の方法・基準等 / Evaluation	授業参加度、レポート、プレゼンテーション、試験 (担当者で異なる。授業の初めに連絡予定) で評価する。		
受講要件 (履修条件) / Requirements	特になし		
アクセシビリティ / Accessibility	長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては、担当教員 (上記連絡先参照) または「アシスト広場」 (障がい学生支援室) にご相談下さい。 アシスト広場 (障がい学生支援室) 連絡先 (TEL) 095-819-2006 (FAX) 095-819-2948 (E-MAIL) support@m1.nagasaki-u.ac.jp		
備考 (URL) / Remarks (URL)			

学生へのメッセージ/Message for students	医療現場で人々の健康に関する安全と安心を維持するためにどのような対応が求められるか、自ら努力をして維持することが重要であることを認識してほしい。
授業計画詳細 / Course Schedule	
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents
第1回	4/10 (月) 気候変動と感染症
第2回	4/17 (月) デング熱ってなに？
第3回	4/24 (月) 蚊と感染症
第4回	5/1 (月) 開発途上国の医療現場と感染症
第5回	4/11 (火) 原子力災害後の放射線リスクと危機管理
第6回	4/18 (火) 放射線被ばくを受けた住民に対する支援活動の実際
第7回	4/25 (火) 高齢者医療の現状と看護
第8回	5/2 (火) 医薬品開発の歴史：くすりは毒から作られた
第9回	5/9 (火) 身近な毒と、毒を克服した生物たち
第10回	5/16 (火) くすりと食べ物の境界はどこか(病気の予防と治療)
第11回	5/23 (火) 食とくすりの安全について考える
第12回	5/8 (月) 救急医療の現状と課題
第13回	5/15 (月) 災害医療の現状と課題
第14回	5/22 (月) 救急医療における臓器提供と終末期医療の現状と課題
第15回	5/29 (月) 安心な災害医療・救急医療に向けて我々が取り組むべきこと

学期 / Semester	2017年度 / Academic Year 3ク ォーター / Third Quarter	曜日・校時 / Day・Period	月 / Mon 3, 月 / Mon 4
開講期間 / Class period	2017/09/29 ~ 2017/11/27		
必修選択 / Required/Elective class	選択 / elective	単位数(一般/編入/留学) / Credits (general/admission/overseas)	2.0/2.0/2.0
時間割コード / Time schedule code	20170587027301	科目番号 / Subject code	05870273
科目ナンバリングコード / Numbering Code	GEMB 12161_005		
授業科目名 / Subject	心が安らぐ安全な社会づくり (社会科学からみた安全・安心) / Safety and Security Viewed from the Social Science		
編集担当教員 / Professor in charge of putting together the course syllabus	宇都宮 謙 / Utunomiya Yuzuru, 橋爪 真弘 / Hashizume Masahiro		
授業担当教員名(科目責任者) / Professor in charge of the subject	宇都宮 謙 / Utunomiya Yuzuru		
授業担当教員名(オムニバス科目等) / Professor(s)	宇都宮 謙 / Utunomiya Yuzuru		
科目分類 / Class type	全学モジュール 科目, 全学モジュール 科目		
対象年次 / Year	2, 3, 4	講義形態 / Class Form	講義 / Lecture
教室 / Class room	教養教育A棟24 / RoomA-24		
対象学生(クラス等) / Object Student			
担当教員Eメールアドレス / E-mail address	yuzuru nagasaki-u.ac.jp (メールを送信する を@に変更して送信してください)		
担当教員研究室 / Laboratory	東南アジア研究所209室		
担当教員TEL / Tel	095-820-6300 (代表)		
担当教員オフィスアワー / Office hours	随時応談		
授業の概要及び位置づけ / Course Outline and Objectives	<p>本講義は、ASEAN(東南アジア諸国連合)を構成する各国社会事情について、網羅的に理解することを目的とする。</p> <p>ASEANは、わが国による経済活動にとって、枢要な位置を占める。食糧確保や防衛、周辺諸国を含めた環境保護にとっても、重要な地域である。同地域社会事情に関する知見は、一般教養であるとさえ言える。にもかかわらず、さほど知られる知見であるとも言いがたい。ASEANを構成する国名をすべてそらんじることができる人々が、何人いるだろうか。</p> <p>そこで担当者は、同地域における地理、歴史、人口、経済に着目、これらを網羅的に解説することを企図するに至った。</p>		
授業到達目標 / Goal	<p>本講義は、以下3点を、講義目標として提示する。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. ASEANに関して提供した知見を、正確に獲得すること。 2. 同地域に関心を抱くこと。 3. 同地域において発生し得る社会問題を考察すること。 		
授業方法(学習指導法) / Method	講義による		
授業内容 / Class outline / Con	本講義は、ASEAN各国における地理、歴史、人口、経済に関する知見を提供する。とくに、ASEAN5と呼ばれる各国(インドネシア、マレーシア、フィリピン、タイ、ベトナム)については、時間を割いて解説する。		
事前、事後学習の内容 / Preparation & Review			
キーワード / Key word	<ol style="list-style-type: none"> 1. 東南アジア諸国連合 2. 持続可能性 3. 社会貢献 4. 環境保護 5. 人口構造 		
教科書・教材・参考書 / Textbook, Teaching material, and Reference book	教科書は用いない。講義担当者が配布する資料および各機関が作成した各国事情に関する資料を用いる。一例として、国際協力銀行による資料(https://www.jbic.go.jp/ja/information/investment)を挙げる。		
成績評価の方法・基準等 / Evaluation	<p>本科目は、以下4点を、成績評価基準とする。カッコ内は、成績評価に占める重要度を示す。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 定期試験(50%) : 定期試験期間中に実施する。 2. 小テスト(@10%×2回、20%) : 期中に2回実施する。 3. 予習用課題(@1%×15回、15%) : 講義当日までに提出する課題。eラーニングシステムにアップロードする。 4. 復習用課題(@1%×15回、15%) : 講義日翌日までに提出する課題。eラーニングシステムにアップロードする。 		
受講要件(履修条件) / Requirements	特になし。		
アクセシビリティ / Accessibility	<p>長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては、担当教員(上記連絡先参照)または「アシスト広場」(障がい学生支援室)にご相談下さい。</p> <p>アシスト広場(障がい学生支援室)連絡先 (TEL) 095-819-2006 (FAX) 095-819-2948 (E-MAIL) support@ml.nagasaki-u.ac.jp</p>		
備考(URL) / Remarks(URL)			

学生へのメッセージ/Message for students	<p>1. 4回以上欠席した受講者は、理由の如何を問わず、定期試験を受験する権利を喪失する。</p> <p>2. 本講義は、必携PCおよびスマートフォンを用いる。持参して出席すること。</p> <p>3. 講義内容に関する質問を歓迎する。</p>
授業計画詳細 / Course Schedule	
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents
1	イントロダクション：本講義目標、方法、成績評価基準について説明する。受講者がASEANについてなにを知っているか（知らないか）に関する調査も実施する。
2	世界とわが国とASEAN その1：おもに経済的側面について、ASEANが人類社会に占める位置を概観する。
3	世界とわが国とASEAN その2：経済的側面を除く社会事情について、ASEANが人類社会に占める位置を概観する。
4	タイ その1（歴史・地理・人口・経済）
5	タイ その2（企業と産業）
6	タイ その3（社会貢献と昨今の情勢）
7	マレーシア
8	Mid-term ASEAN Quiz
9	ベトナム その1（歴史・地理・人口・経済・企業）
10	ベトナム その2（食料生産と環境保護）
11	フィリピン
12	インドネシア
13	その他各国 その1（ラオス、カンボジア、ミャンマー）
14	その他各国 その2（ブルネイ・ダルサラーム、シンガポール）
15	総括とASEAN Quiz その2
16	定期試験

学期 / Semester	2017年度 / Academic Year 4ク ォーター / Fourth Quarter	曜日・校時 / Day・Period	月 / Mon 3, 月 / Mon 4
開講期間 / Class period	2017/11/28 ~ 2018/01/30		
必修選択 / Required/Elective class	選択 / elective	単位数(一般/編入/留学) / Credits (general/admission/overseas)	2.0/2.0/2.0
時間割コード / Time schedule code	20170587027701	科目番号 / Subject code	05870277
科目ナンバリングコード / Numbering Code	GEMB 12171_005		
授業科目名 / Subject	心が安らぐ安全な社会づくり (工学から見た安全安心(エネルギーと資源)) / Energy and Natural Resources from the Viewpoint of the Engineering		
編集担当教員 / Professor in charge of putting together the course syllabus	桃木 悟 / Momoki Satoru, 山口 朝彦 / Yamaguchi Tomohiko, 橋爪 真弘 / Hashizume Masahiro, 近藤 智恵子 / Kondou Chieko		
授業担当教員名(科目責任者) / Professor in charge of the subject	桃木 悟 / Momoki Satoru		
授業担当教員名(オムニバス科目等) / Professor(s)	桃木 悟 / Momoki Satoru, 山口 朝彦 / Yamaguchi Tomohiko, 近藤 智恵子 / Kondou Chieko		
科目分類 / Class type	全学モジュール 科目		
対象年次 / Year	2, 3, 4	講義形態 / Class Form	講義 / Lecture
教室 / Class room	教養教育A棟24 / RoomA-24		
対象学生(クラス等) / Object Student	医学部、歯学部、工学部、環境科学部		
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	momoki nagasaki-u.ac.jp, "ckondou", "tomo" (メールを送信する際は を@に変更して送信してください)		
担当教員研究室/Laboratory	工学部1号館3階 基礎エネルギー工学G研究室		
担当教員TEL/Tel	095-819-2528(桃木)/2531(山口)/2527(近藤)		
担当教員オフィスアワー/Office hours	火曜: 5校時(事前にe-mailで、予約するのが望ましい。)		
授業の概要及び位置づけ/Course Outline and Objectives	日本のエネルギーのあり方を考えるために、日本のエネルギー事情、資源(食料、化石燃料、レアメタル、鉄など)の今後、国民生活とエネルギー需給、IPCCの報告書をめぐる環境問題の捉えかたを、安全の問題を踏まえてテーマとする。		
授業到達目標/Goal	日本と世界のエネルギーと資源の基本問題が説明できること。自分なりの問題解決策の第1歩を提案できること。		
授業方法(学習指導法)/Method	教員提示の資料や受講者が集めた資料などに基づき、講義を展開する。		
授業内容/Class outline/Con	概要: エネルギーの基礎に関する講義、エネルギーの安定供給や環境保全の観点を踏まえた各種応用技術の原理や現状の紹介、および地球温暖化を含む環境問題や持続可能社会へ向けた議論。		
事前、事後学習の内容/Preparation & Review			
キーワード/Key word	環境問題、化石燃料、原子力、エネルギーの質、地球温暖化、代替冷媒、食料増産		
教科書・教材・参考書/Textbook, Teaching material, and Reference book	担当教員が、適時資料を配布するか、または、受講者各自にdownloadしてもらおうURLを知らせる。		
成績評価の方法・基準等/Evaluation	毎回の講義出席を原則とし、定期試験(70%), 3回のレポート(30%)で総合評価する。		
受講要件(履修条件)/Requirements			
アクセシビリティ/Accessibility	長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては、担当教員(上記連絡先参照)または「アシスト広場」(障がい学生支援室)にご相談下さい。 アシスト広場(障がい学生支援室)連絡先 (TEL) 095-819-2006 (FAX) 095-819-2948 (E-MAIL) support@ml.nagasaki-u.ac.jp		
備考(URL)/Remarks(URL)			
学生へのメッセージ/Message for students	日本は、天然資源のほとんどを外国に依存しているにも関わらず、エネルギーの問題は、1973年および1979年のオイルショックの後にはあまり関心を集めてこなかった。しかし、地球温暖化の問題や東日本大震災後を経て、国民の全体の課題として広く関心を集めている。受講者は、常に新聞やテレビなどのメディアが発信するエネルギー関連の情報に常に注意を払い、疑問があったらすぐに自分で調べる態度を続けて欲しい。		
授業計画詳細 / Course Schedule			
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents		
第1回	概説, 準備, アンケート		
第2回	エネルギーとは: そもそもエネルギーとは何なのか, どのくらい重要なのかについて, それを " 定量的 " に議論する最低限の素養を身につけるための講義を行う。		
第3回	エネルギーの定量的な取り扱いに関する講義の続き。		
第4回	エネルギーに関する歴史: 需要と供給について定量的に考え方を交えながら, エネルギー利用技術と社会の状況に関する歴史について講義する。		

第5回	国内および世界のエネルギー事情（1）： 資源エネルギー庁による最新版のエネルギー白書を参考にここ数年の日本国内のエネルギー事情に関し講義する。 また、長崎大学での海洋エネルギー利用技術研究の現状を簡単に紹介する。
第6回	国内および世界のエネルギー事情（2）：日本機械学会動力エネルギー技術部門や日本伝熱学会等、国内外のエネルギーに関連した分野の研究者や技術者の関連動向を踏まえて、最新の状況について講義する。
第7回	発電効率と一次エネルギー： 発電の方法および効率について理解し、国内技術の現状を知る。エネルギーの安定供給と地球環境に配慮した、一次エネルギーの選択について議論する。
第8回	省エネルギーと環境保全1（建物と自動車） NOAAが提唱する地球温暖化防止のシナリオを達成するための、身近な課題について講義。 省エネと温暖化防止のための、建物および自動車の技術開発を取り上げる。
第9回	省エネルギーと環境保全2（ヒートポンプ） ヒートポンプを用いることで一次エネルギー削減になることを、簡単な計算で理解する。 地中熱、河川や下水排熱、工場排熱を利用したヒートポンプの応用例について紹介する。
第10回	省エネルギーと環境保全3（ヒートポンプの冷媒問題） ヒートポンプ冷媒やORCの作動流体にはフロンが多様されている。このフロンの及ぼす環境破壊と規制について講義し、最新の開発動向について紹介する。
第11回	IPCC第5次評価報告の概要 Working Group I： 気候変動の概況と予測、およびその科学的根拠を講義する。
第12回	IPCC第5次評価報告の概要 Working Group II： 気候変動の影響を講義する。
第13回	IPCC第5次評価報告の概要 Working Group III： 気候変動の緩和策を議論する。
第14回	IPCCの報告書をめぐる環境問題の捉えかた： IPCC評価報告書の社会への影響とさまざまな意見を議論する。
第15回	持続的社會に向けての取り組み： 省エネルギー対策、再生可能エネルギーの開発、原子力の現状などを議論する。
第16回	定期試験